

令和 7 年 4 月市長定例記者会見

日時：令和 7 年 4 月 1 日（火） 午後 3 時～

場所：射水市役所会議室 4 0 1

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、射水 CATV、
庄東タイムズ・ホットライン小杉

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、
子育て支援課長、介護保険課長補佐、政策推進課長、環境課長、
市民活躍・文化課長

Q 1. 本日（4 月 1 日）にシロエビ漁が解禁され、豊漁だったとのことだが、
今後の期待を教えてください。

A 1. シロエビ漁が豊漁だったとの報告があり、大変喜んでいる。昨年は能登
半島地震の影響で記録的な不漁だったが、漁業者の方々による資源回復
への取組の効果があり、今年は好調な漁獲となったと思われる。

シロエビは射水市の代表的なブランド食材であり、首都圏などで知名度
が高まり人気を集めている。大阪で開催された「エビフェス」などにも
参加し PR を行ってきており、今後はさらに全国的な知名度を高めること
を目指していきたい。また、昨日、第 3 0 回全国青年・女性漁業者交流大
会で「富山湾しろえび倶楽部」が農林水産大臣賞を受賞された。漁業者同
士で水揚げを共有する「プール制」の導入、持続可能な漁業やブランド化
による安定した経営のための取組などが評価された。

市としても、「富山湾しろえび倶楽部」や漁業組合など関係者と協力し、
シロエビのブランド化と魅力発信に努めていく。

Q 2. 市長選挙を控えているが、現時点での思いを教えてください。

A 2. 任期が迫る中で、本日から新年度が始まり、まずは 3 月議会で議決いた
だいた予算の執行や直面する課題にしっかり取り組む。能登半島地震か
らの復旧・復興も道半ばであるため、引き続き一日も早い復旧・復興に向
け、目の前のことに集中して取り組んでいきたい。

Q 3. 市長選挙について、判断はいつ頃までにされるのか。

A 3. 前回の4年前は、市議会6月定例会において議会質問があった。先日の3月定例会でも質問があったが、状況を見ながら判断していきたい。ただ、私自身の思いだけではなく、後援会や支援いただいてる方にも相談したい。時期については未定。

Q 4. オリバースポーツフィールド射水の再開はいつか。

A 4. 現在、復旧作業が進行中で、残りの工程として人工芝を張る作業がある。天候不順のため冬場は工事が進まなかったが、春に入り天候が安定するため、残りの工事も進められる見込みである。具体的な再開日程は未定だが、一日も早い再開を目指している。

Q 5. 港町の液状化対策に関する住民説明会の日程は決まったのか。

A 5. 液状化被害が顕著だった港町地区において、国の直轄調査が行われた。調査結果が3月末に報告され、対策工法として地下水位低下工法を採用することとした。地元住民への説明を行った上で、理解が得られれば実証実験を実施する予定である。地元説明会は4月下旬を予定しているが、地元と調整が必要である。

Q 6. 地元説明会には市長も出席するのか。

A 6. 日程や地元の要望等による。

Q 7. 「ゼロカーボンシティいみず」のロゴマークについて、既存キャラクターの使用は不可とのことだが、ムズムズくんもか。

A 7. ムズムズくんも使用禁止である。

Q 8. 国際交流コーディネーターの王さんの採用理由や期待していることは何か。

A 8. 日本語をしっかりと学び、ホテルでの勤務経験があるなど、これまでの経歴から、交流事業をはじめ、インバウンド推進のため、本市の魅力発信を

行っていただけると期待して いる。また、非常に意欲的であり、やる気がある点を評価させていただいた。

Q 9. 国際交流コーディネーターの募集はいつ行ったのか。

A 9. 昨年の冬から募集を行った。応募は複数あったが、面接は1名のみであった。

Q 10. 証明発行用紙の記念デザインについて、今年だけ実施するものか。

A 10. 裏面の「2025射水市制20周年」のデザインロゴは、今年度のみ使用する。来年度以降は「射水市」のみにして継続使用する予定。